

関経連は、東日本大震災からの復旧・復興を全力で応援します。

関西経済レポート

関西の各種指標をみると、一部に持ち直しの動きがあるものの、海外経済減速などの影響から足踏み状態が継続している。

輸出は、中国を含むアジア向けの減少が続き、厳しい状態が続く。

雇用が徐々に改善するもとで、個人消費は緩やかに持ち直している。

先行きについては、日中関係悪化の長期化、電力の供給制約、海外経済の動向や為替相場の影響等に注視が必要である。



2012年10月31日

関経連経済調査部

※本レポート中の「近畿」「関西」の範囲は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県。

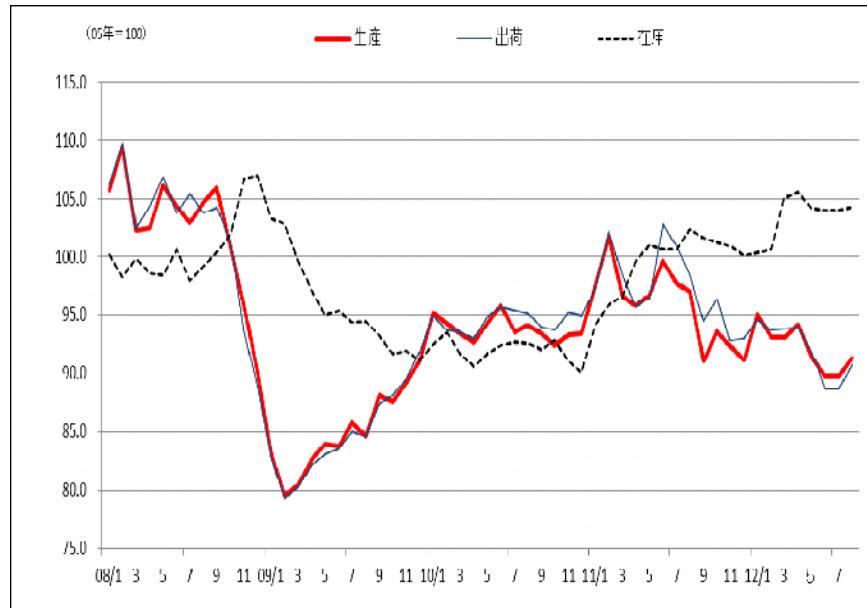
ただし鉱工業生産、大型小売店販売額については、福井県を含む2府5県。

～目次～

生産	1
輸出入	2
個人消費	3
雇用	4

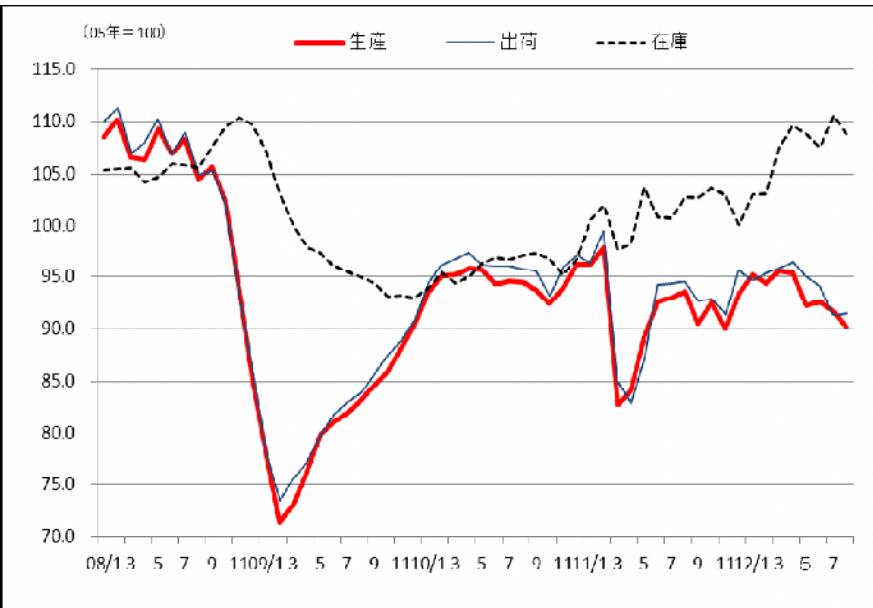
～生産～

鉱工業指数の推移（近畿 2012年8月確報まで）



(出所) 近畿経済産業局

鉱工業指数の推移（全国 2012年8月確報まで）

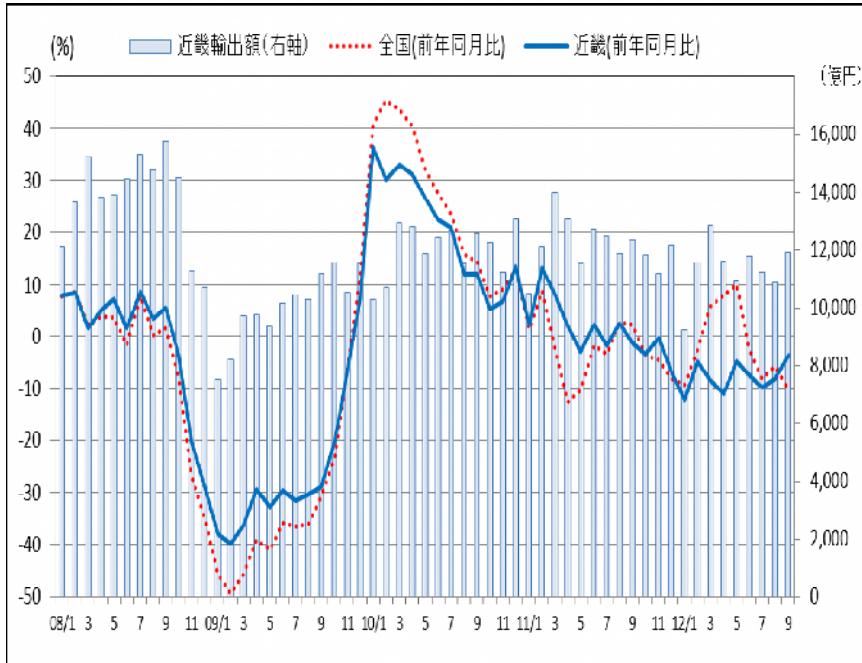


(出所) 経済産業省

- ・近畿の8月（確報）の鉱工業生産指数は、91.3。前月比+1.8%と2カ月ぶりの上昇。総じて見れば、生産は横ばい。
出荷は前月比+2.5%の90.8と、2カ月ぶりの上昇。在庫は、前月比+0.3%の104.3と2カ月ぶりの上昇。
業種別にみると、一般機械工業、電子部品・デバイス工業、その他工業等の生産が上昇。
品目別にみると、ガスタービン、フェノール、固定コンデンサなどが上昇に寄与。
- ・全国の8月（確報）の鉱工業生産指数は、90.2。前月比▲1.6%と2カ月連続の低下。総じて見れば、横ばいの傾向。
出荷は、前月比+0.2%の91.5と4カ月ぶりの上昇。在庫は、前月比▲1.6%の108.8と2カ月ぶりの低下。
業種別では、電子部品・デバイス工業、化学工業、情報通信機械工業等などが低下に寄与。
製造工業生産予測調査によると、9月は低下、10月は横ばいを予測している。

～輸出入～

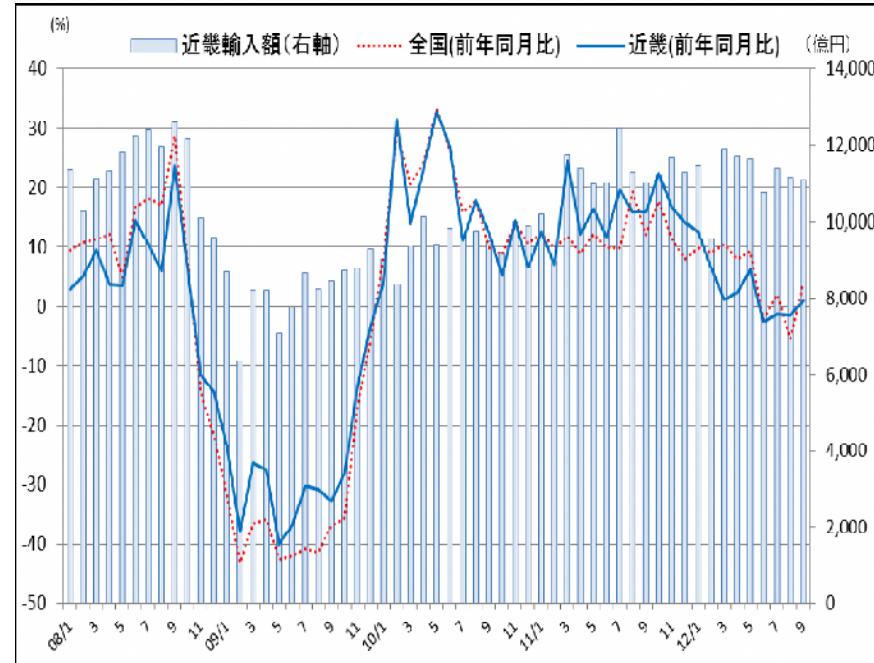
輸出金額・前年同月比増減率推移（2012年9月まで）



○近畿の月次の輸出動向（2012年9月まで）

- ・9月の近畿の輸出額は1兆1,917億円、前年同月比▲3.5%。13カ月連続の前年同月比マイナス。
- ・半導体等電子部品、建設用・鉱山用機械等が減少。
- ・地域別では、アジア向けが前年同月比▲3.6%12カ月連続のマイナス。うち中国向けは同▲9.4%と10カ月連続のマイナス。
EU向けは同▲6.0%と14カ月連続のマイナス、米国向けは同+8.4%と2カ月連続のプラス。
- ・全国の9月の輸出額は5兆3,598億円、前年同月比▲10.3%。

輸入金額・前年同月比増減率推移（2012年9月まで）



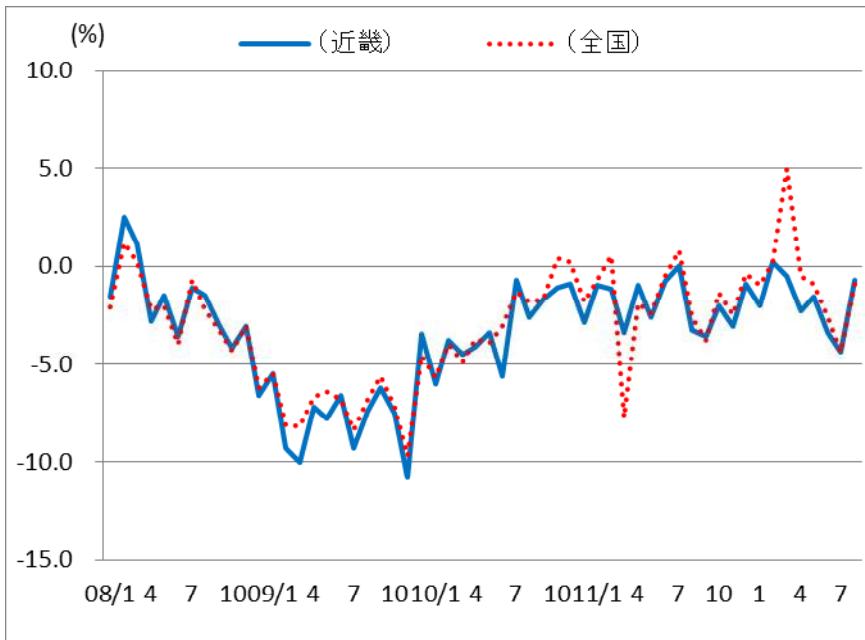
○近畿の月次の輸入動向（2012年9月まで）

- ・9月の近畿の輸入額は1兆1,109億円、前年同月比+1.0%と4カ月ぶりのプラス。
- ・通信機、天然ガス及び製造ガス、医薬品等が増加。
- ・地域別では、対アジアが前年同月比+2.4%と4カ月ぶりのプラス。アジアのうち対中国が同+3.4%と4ヶ月ぶりのプラス。対米国が同▲3.7%と3カ月ぶりのマイナス。対EUは同▲14.8%と3カ月ぶりのマイナス。
- ・全国の輸入額は5兆9,183億円、前年同月比+4.1%と2カ月ぶりのプラス。

出所：財務省税関(全国)、大阪税關(近畿)

～個人消費～

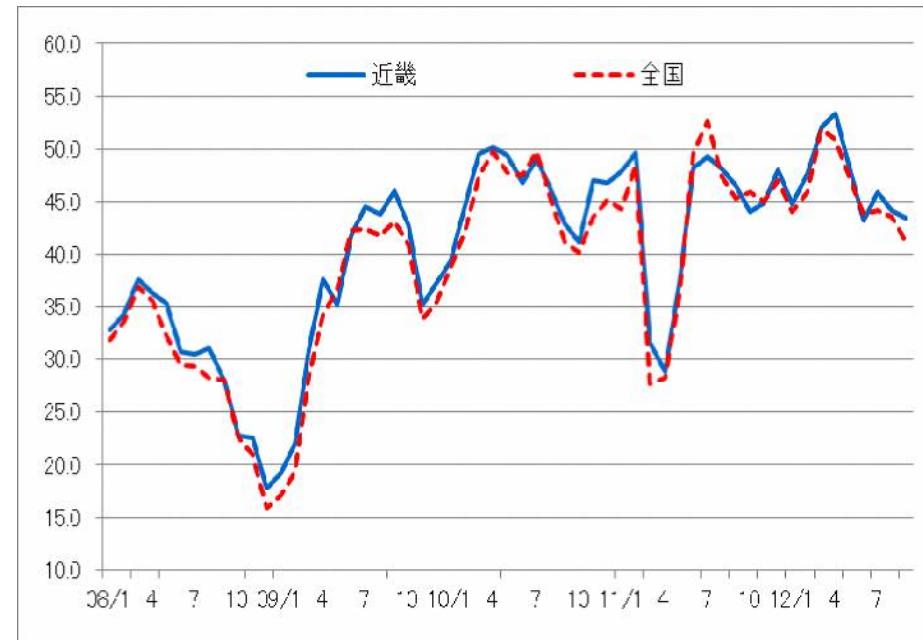
大型小売店販売額（前年同月比・2012年8月まで）



(出所) 近畿経済産業局

- ・近畿の8月の大型小売店(百貨店＋スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比▲0.7%と6カ月連続のマイナス。
- ・スーパーは同▲0.8%と45カ月連続のマイナス。
- ・百貨店は同▲0.6%と、5カ月連続のマイナス。
- ・8月末まで続いた猛暑のため盛夏商品は好調だったものの、秋物が低調に推移したことなどからマイナスに。
- ・全国の8月の大型小売店販売額(既存店ベース)は同▲0.9%4カ月連続のマイナス。

景気ウォッチャー調査(現状判断DI・方向性 2012年9月まで)

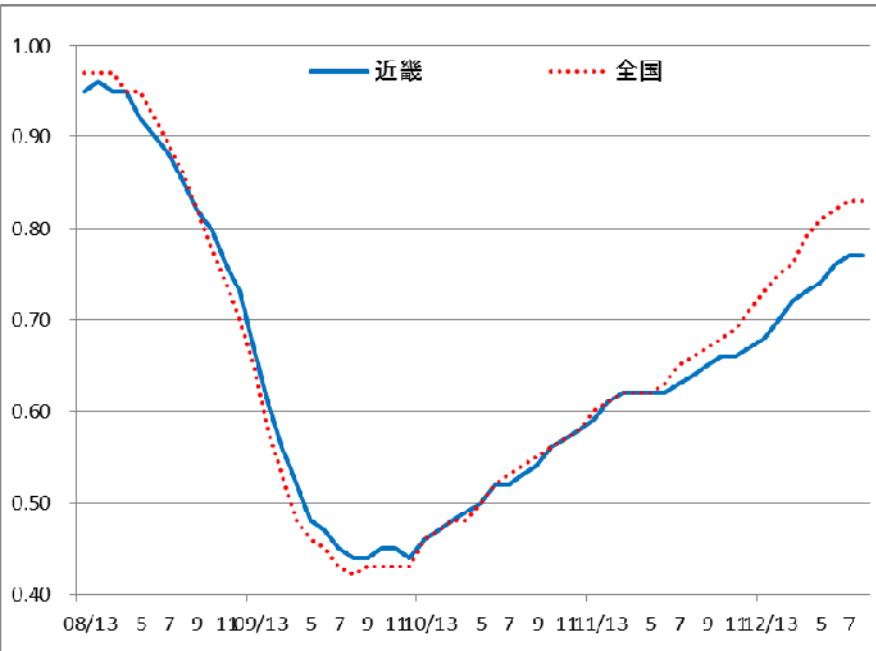


(出所) 内閣府

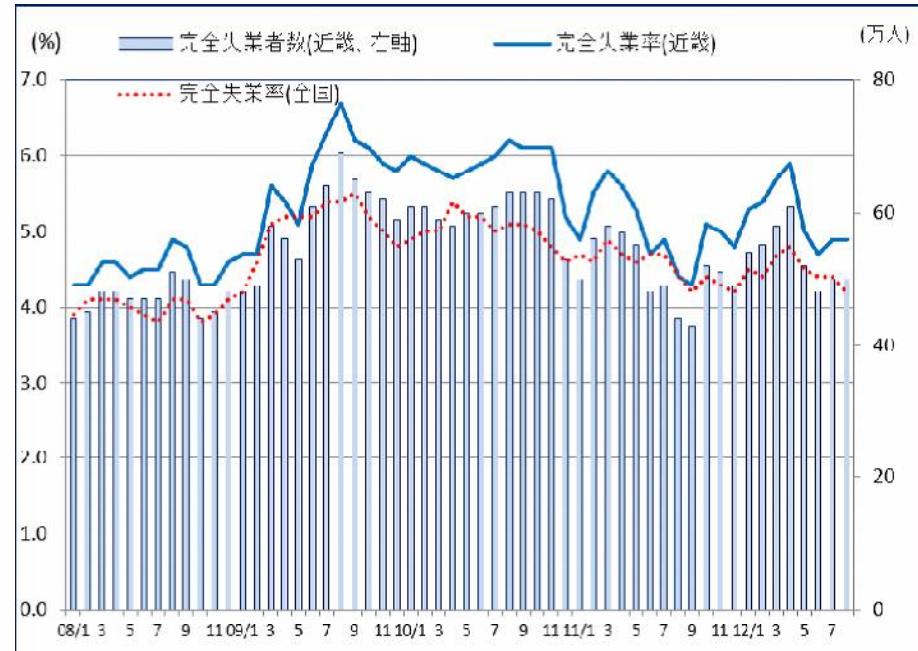
- ・9月の近畿の現状判断DIは前月比▲0.8ポイントの43.4と、2カ月連続の低下。エコカー補助金終了による自動車の販売減や、日中関係悪化の影響等により低下。
- ・企業動向においては、引き続き円高や海外経済減速等による受注の減少等がみられ低下した。
- ・全国の9月の現状判断DIは前月比▲2.4ポイントの41.2。
- ・近畿の9月の先行き判断DIは前月比▲2.7ポイントの41.9と、3カ月連続の低下。
- ・全国の先行き判断DIは同▲0.1ポイントの43.5。

～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2012年8月まで）



完全失業率の推移（原数値・2012年8月まで）



(出所) 厚生労働省

地域別有効求人倍率2012年8月

	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
7月	0.83	0.60	0.91	0.83	0.85	0.95	1.03	0.77	0.93	0.86	0.67
8月	0.83	0.60	0.90	0.84	0.85	0.94	1.00	0.77	0.93	0.86	0.69

- 2012年8月の近畿の有効求人倍率は0.77倍、前月比横ばい。
- 全国は0.83倍で、前月比横ばい。

(出所) 総務省「労働調査」

- 8月の近畿の完全失業率（原数値）は4.9%。前月比横ばい。
前年同月比では+0.5%と悪化。
- 持ち直しの傾向が一服している。
- 8月の全国の完全失業率（原数値）は4.2%、前月から▲0.2%の改善。
- 8月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.2%、前月から▲0.1%の改善。